

平成31年2月26日

▼タイトル

第32回記念館小企画展「熊沢蕃山生誕400年 ～中江藤樹の代表的門人～」 開催

▼概要

中江藤樹の代表的門人である熊沢蕃山は、1619年に、京都稻荷の野尻和利の長男として生まれ、16歳の時に、宮津藩主京極高通の紹介で備前岡山藩主池田光政の小姓役として仕えました。20歳の時、岡山藩をやめて、近江・桐原村の実家に移り、23歳の時に師を求めて京都に出て、その年に近江国小川村の中江藤樹に教えを受けました。

その後、ふたたび備前岡山藩で池田光政に仕えて、それを藩士に教示し、大胆な藩政改革を行いました。蕃山は光政の信任も厚く、藩政に手腕を発揮し、その名声は全国に響きました。特に藩学に中江藤樹の学を取り入れて、政治のより所として生かしました。蕃山は、後に陽明学者として名を馳せ、その師である中江藤樹とその教えが広く知られるようになりました。また、中江藤樹の三子や有力門人を池田光政に推挙するなどその功績は大きいと言えます。

この度の第32回小企画展では、このような中江藤樹の代表的門人である熊沢蕃山の生誕400年を記念して、岡山市、備前市を中心に、熊沢蕃山が活躍した当時を偲ぶ遺墨や肖像画、写真などを展示しています。特に、「明德首尾吟・論學の詩」は、平成29年に藤樹書院に寄贈されたもので、当記念館では初めて展示される書である。中江藤樹と熊沢蕃山との深い親交が感じられます。

▼日時 平成31年3月1日から平成32年2月29日までの開館日
休館日は毎週月曜日（祝日および振替休日を除く）・祝日および振替休日の翌日（土曜日または日曜日を除く）・12月29日から1月3日まで

▼場所 近江聖人中江藤樹記念館

▼内容 四行書「以物観物不以己観物」（直筆）、明德首尾吟・論學の詩（直筆）、熊沢伯継出馬の絵（複製）、熊沢伯継ノ書「文武之濟美」（複製）、聖号「至聖文宣王」（複製）、絹本著色 絹本著色池田光政画像の（複製）、孝経（複製）、書状手鑑「息遊軒書綴」（複製）、熊沢蕃山年譜、関連史跡写真画像などを展示しています。

▼対象 全来館者

▼問い合わせ先

- 所 属：近江聖人中江藤樹記念館
- 担 当：館長 富永 雄教
- 電話番号：0740（32）0330
- ファックス：0740（32）0330